

月	単元名・内容	配当時間	評価項目		主な判定標準（おおむね満足できる 日の基準）	主な評価方法
			観点	特に重視する観点に◎（評価する観点に○）		
4 5	1章 多項式 1節 多項式の計算	18	知識・技能	◎	・展開と因数分解及び因数の意味を理解している。 ・数量及び数量の関係を帰納や類推によってとらえ、それを文字を用いた式を使って一般的に説明することの必要性と意味を理解している。 ・簡単な一次式の乗法の計算及び乗法公式や因数分解の式を用いる簡単な式の展開や因数分解ができる。 ・数量及び数量の関係を、文字を用いた式で表すことができる。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等）
	2節 因数分解 3節 式の計算の利用		思考・判断・表現	○	・単項式や多項式の乗法、除法の計算の方法を、具体的な数の計算や既習の文字を用いた式の計算と関連づけて考えることができる。 ・数や図形の性質などが成り立つことを数量及び数量の関係をとらえ、方針を明らかにして、文字を用いた式で説明することができる。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等） 単元テスト・考査
	主体的に学習に取り組む態度		◎	・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法に関心を持ちそれを計算しようとしている。 ・一次式の乗法、式の展開と因数分解に関心を持ち、それらの計算をしようとしている。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明することに関心を持ち、問題の解決に生かそうとしている。	授業中の取り組み姿勢 振り返りレポート 提出物（テスト直し等）	
6 7	2章 平方根 1節 平方根 2節 根号を含む式の計算	18	知識・技能	◎	・数の平方根を用いて、身の回りの様々な事象を表すことができる。 ・数の平方根を数直線上に表したり、大小関係を不等号を用いて表したりすることができる。 ・数の平方根を含む式の四則計算ができる。 ・正の数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 ・数の平方根の必要性と意味を理解している。 ・有理数と無理数の意味を理解している。 ・平方根を含む式の四則計算の仕方を理解している。 ・正の数の平方根を用いて、具体的な場面での数を用いて表したり処理したりする範囲が広がることを理解している。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等）
	思考・判断・表現		○	・数の平方根を含む式の計算を、既習の計算と関連付けて考えることができる。 ・正の数の平方根を用いて表したり処理したりした結果を基にして、具体的な場面での数量やその関係について考えることができる。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等） 単元テスト・考査	
	主体的に学習に取り組む態度		◎	・数の平方根に関心を持ち、その必要性と意味を考えたり、数の平方根を用いて、身の回りの様々な事象を表したり、その近似値を求めたりしようとしている。 ・数の平方根を含む式の四則計算に関心を持ち、その意味や計算の仕方を考えたり、計算したりしようとしている。 ・平方根を用いることに関心を持ち、具体的な場面での数量を表したり処理したりしようとしている。	授業中の取り組み姿勢 振り返りレポート 提出物（テスト直し等） 単元テスト・考査	
7 9	3章 二次方程式 1節 二次方程式とその解き方 2節 二次方程式の利用	13	知識・技能	◎	・二次方程式をつくることことができる。 ・因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くことができる。 ・問題の中の数量やその関係を文字を用いた式で表し、それを基にしてつくった二次方程式を解くことができる。 ・二次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。 ・因数分解や平方の形に変形することを基にして二次方程式の解き方を理解している。 ・二次方程式を活用して問題を解決する手順を理解している。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等）
	思考・判断・表現		○	・因数分解や平方の形に変形することを基にして、二次方程式の解き方を考えることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係をとらえ、二次方程式をつくることことができる。 ・求めた解や解決の方法が適切であるかどうかを振り返って考えることができる。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等） 単元テスト・考査	
	主体的に学習に取り組む態度		◎	・二次方程式とその解に関心を持ち、その必要性と意味を考えたり、様々な数を代入するなどして自分なりの方法で解を求めたりしようとしている。 ・二次方程式を解くことに関心を持ち、因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解こうとしている。 ・二次方程式を活用することに関心を持ち、問題の解決に生かそうとしている。	授業中の取り組み姿勢 振り返りレポート 提出物（テスト直し等）	
9 10	4章 関数 $y = ax^2$ 1節 関数 $y = ax^2$ 2節 いろいろな関数	14	知識・技能	◎	・関数 $y = ax^2$ の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 ・具体的な事象の中から見いだした関数関係を、表やグラフなどで表すことができる。 ・関数 $y = ax^2$ の特徴を理解している。 ・具体的な事象の中から見いだした関数関係には、既習の比例、反比例、一次関数、関数 $y = ax^2$ とは異なるものがあることを理解している。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等）
	思考・判断・表現		○	・関数 $y = ax^2$ の特徴を、表、式、グラフを相互に関連付けるなどして見いだすことことができる。 ・具体的な事象の中から見いだした関数関係を既習の関数関係と比較し、その特徴を考えることができる。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等） 単元テスト・考査	
	主体的に学習に取り組む態度		◎	・関数 $y = ax^2$ の特徴に関心を持ち、表、式、グラフを用いて考えようとしている。 ・いろいろな事象と関数に関心を持ち、表やグラフなどで表したり、その特徴を考えたりしようとしている。	授業中の取り組み姿勢 振り返りレポート 提出物（テスト直し等）	
10 11	5章 相似な図形 1節 相似な図形 2節 平行線と比 3節 相似な図形の面積と体積	16	知識・技能	◎	・二つの三角形が相似であること、辺や角の関係を記号を用いて表したり、の意味を読み取ったりすることができる。 ・相似な三角形の対応する辺の長さや角の大きさを求めることができる。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等）
	思考・判断・表現		◎	・相似な図形の性質を見いだすことことができる。 ・三角形の相似条件を用いて、二つの三角形が相似であるかどうかを考えることができる。 ・見いだした図形の性質などを、三角形の相似条件を用いて証明することができる。 ・相似な図形の性質を用いて考えた結果が適切であるかどうかを振り返って確かめることことができる。 ・三角形の相似条件に関心を持ち、それについて考えたり、それを用いて証明したりしようとしている。 ・相似な図形の性質を用いて具体的な事象をとらえることに関心を持ち、問題の解決に生かそうとしている。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等） 単元テスト・考査	
	主体的に学習に取り組む態度		◎	・	・	・
11 12	7章 円 1節 円周角と定理 2節 円と直線	12	知識・技能	◎	・円周角と中心角の関係や、同じ弧に対する円周角の性質などを記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 ・円周角と中心角の関係を用いて、角の大きさを求めることができる。 ・円周角の意味、円周角と中心角の関係及び同じ弧に対する円周角の性質の意味を理解している。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等）
	思考・判断・表現		◎	・円周角と中心角の関係や、同じ弧に対する円周角の性質を見いだすことことができる。 ・円周角と中心角の関係を用いて考えた結果が適切であるかどうかを振り返って確かめることことができる。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等） 単元テスト・考査	
	主体的に学習に取り組む態度		◎	・円周角と中心角の関係や、同じ弧に対する円周角の性質を見いだすことことができる。 ・円周角と中心角の関係を用いて考えた結果が適切であるかどうかを振り返って確かめることことができる。	授業中の取り組み姿勢 振り返りレポート 提出物（テスト直し等）	
12 1	7章 三平方の定理 1節 三平方の定理 2節 三平方の定理の利用	15	知識・技能	◎	・三平方の定理を記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 ・三平方の定理の意味を理解している。 ・平面図形や空間図形の計量をしたり、直角をつくりたりするなど、三平方の定理やその逆が用いられる場面を理解している。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等）
	思考・判断・表現		◎	・直角三角形の3辺の長さの間に成り立つ関係に着目し、三平方の定理を見いだすことことができる。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等） 単元テスト・考査	
	主体的に学習に取り組む態度		◎	・三平方の定理を用いて具体的な事象をとらえることに関心を持ち、問題の解決に生かそうとしている。	授業中の取り組み姿勢 振り返りレポート 提出物（テスト直し等）	
2	8章 標本調査 1節 母集団と標本	10	知識・技能	◎	・無作為に標本を抽出し、整理することができる。 ・問題を解決するために、無作為に標本を抽出し、整理することができる。 ・標本調査や全数調査の必要性と意味を理解している。 ・標本調査を行い、問題を解決する手順を理解している。 ・整理した標本を基にして、母集団の傾向を推定することができる。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等）
	思考・判断・表現		○	・問題を解決するために、標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明することができる。	授業中の取り組み姿勢 提出物（ノート・プリントファイル ・テスト直し等） 単元テスト・考査	
	主体的に学習に取り組む態度		◎	・標本調査に関心を持ち、その必要性と意味を考えたり、母集団から偏りなく標本を抽出したり、母集団の傾向を推定したりしようとしている。 ・標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明することに関心を持ち問題の解決に生かそうとしている。	授業中の取り組み姿勢 振り返りレポート 提出物（テスト直し等）	
3	3年間の総まとめ	10				